

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者等に関する情報(令和8年1月22日現在)

1 個人による推薦

なし

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者等に関する情報(令和8年1月22日現在)

2 法人、団体等による推薦

なし

農地利用最適化推進委員の募集に係る申込者等に関する情報(令和8年1月22日現在)

3 応募

応募者氏名	年齢 (歳)	性別	職業	経歴		農業経営の状況		応募する 担当区域	応募理由	農業委員 への応募
				年月日	職名等	営農類型	耕作面積 (アール)			
伊藤 誠吾	55	男	無職	H6.4.1～H10.10 H10.11～H15.12.31 H16.1.1～R7.11.30 (H29.4.1～ R4.4.1～ R5.10.1～)	(株)北海道拓殖銀行 中央信託銀行(株) 農林中央金庫 (JA)銀行企画推進部副部長 宇都宮支店長 全国農業協同組合中央会出向)	—	—	第5地区	昨年末に農林中央金庫を退職し、現在、土地家屋調査士として独立開業を目指しているところです。(令和7年度土地家屋調査士筆記試験合格) これまで、金融面から、間接的に農業に関わってきました。その知識とネットワーク、そして不動産にかかる専門知識を活かして、地域農業の活性化と、農業の多面的な機能の発揮に貢献し、もって農業、環境と調和のとれた地域経済の発展に力を尽したいと考え応募しました。	応募する
有馬 美由紀	69	女	介護職 パート	S52.4.1～S54.2.28 S54.3.1～S56.1.21 H26.9.1～R2.8.30 R5.4.1～R6.6.30 R6.7.1～	日本電信電話公社 西村肇公認会計士事務所 札幌中央倫理法人会事務局 特別養護老人ホーム敬樹園 生活介護事業所霖雨の邑	—	—	第4地区 第5地区	農業に深い関心があり、木村秋則自然栽培農学校に2年通った事があります。営農の経験はありませんが、友人の畑をお手伝いした事があります。 又、自己免疫疾患になり、一生薬を飲まなければいけないと診断されましたが、小麦粉をやめる等して、2年半ほどで通院する必要は無くなりました。このような経験から身体と食べ物との深い関係を知り、現在は家庭菜園ほどの小さな畑しかやってませんが、少しでも農業に貢献したいとの思いから応募します。	応募する
渋谷 義幸	74	男	無職	S53.5.1～H24.3.31 H28.5.1～R4.3.31	北海道土地改良事業団体連合会 審議役 北海道土地改良事業団体連合会(再雇用)	—	—	第1地区 第2地区	農業土木一筋40年、初期は土地改良事業の農地整備(農地造成や用排水路)の設計、後半は土地改良区への指導や統合整備の助言などを担当してきました。 再雇用後は土地改良区の施設管理や農業水利権の更新等を行ってきました。札幌市の開拓に興味があり、住宅近くの丘珠御料地のことなど調べたりしていました。 何か少しでも農業に係わることが出来たらと思い応募しました。	応募する
村山 敏	70	男	無職	S49.4.1～H30.3.31	北海道職員	—	—	第4地区	昭和49年から、北海道職員として従事し、農政部所管の部署に配属され、平成29年度まで42年間勤務しました。 このうち、農地行政(農地法第3条、第4条、第5条、農地保有合理化事業、農地資金などの業務)には15年間従事し、担い手対策行政にも7年間従事してきました。 こういった経験を活かし、農地利用最適化推進委員として札幌市の農業振興の一役を担いたく応募します。	応募する
遠山 覚	62	男	農業	S53.3.16～H元.11.20 H元.12.1～H30.7.20 H30.7.21～ R5.6～	(株)札幌興農園 富士園芸資材(株) 就農 農地利用最適化推進委員	露地野菜	300	第2地区	東区東雁来町地区で農業を営んでおります。 応募理由としまして、札幌市農地利用最適化推進委員として、微力ではありますが、地域振興のために何か貢献が出来ればと思い応募致しました。 又、この職務を通じて地域農業の実態や農地の現状を学ぶ機会を頂き、今後の地域農業振興並びに自身の農業経営における将来設計や計画に役立てたい考えております。	応募しない

※ 記載内容は、推薦申込書又は応募申込書のとおりとしています。